

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
【部門区分】第 6 部門第 2 区分
【発行日】平成30年4月12日 (2018.4.12)

【公表番号】特表2017-509029(P2017-509029A)
【公表日】平成29年3月30日 (2017.3.30)
【年通号数】公開・登録公報2017-013
【出願番号】特願2016-572924(P2016-572924)
【国際特許分類】

G 0 2 B 21/34 (2006.01)

G 0 1 N 1/28 (2006.01)

【F I】

G 0 2 B 21/34

G 0 1 N 1/28 U

【手続補正書】

【提出日】平成30年2月27日 (2018.2.27)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

組織学的または細胞学的使用のための顕微鏡スライドであって、
実質的に平坦な細長の本体を含み、

前記平坦な本体が、第 2 の表面から離間されており、希薄化されているかまたは単一のウェルを画定する第 1 の試料受容表面、および実質的に平坦で光学的に透明な観察表面を含む第 2 の表面を含み、

前記希薄化表面または単一のウェルが、光学的に透明な平坦底部を有し、

前記光学的に透明な平坦底部が、前記平坦底部と接している組織学的または細胞学的検査用の組織の試料を有し、前記試料を前記第 2 の観察表面および前記平坦底部を通して観察することが可能であり、

好ましくは、前記組織の試料が、組織切片、細胞学的スメア、またはサイトスピン試料である、

顕微鏡スライド。

【請求項 2】

第 2 の表面から離間されており、希薄化されているかまたは平坦で光学的に透明な底部を有する単一のウェルを画定する第 1 の表面、および組織学的または細胞学的試料がそれと接して封入されている第 2 の表面を有し、

前記組織試料または細胞学的試料が、前記組織学的または細胞学的試料とカバーガラスとの間のカバーガラス封入剤層により、前記第 2 の表面と接触して維持されている、

顕微鏡スライド。

【請求項 3】

前記標本を染色するための染色剤を含む、

請求項 1 または 2 に記載の顕微鏡スライド。

【請求項 4】

前記カバーガラスの前記表面に隣接または接触している前記標本または組織試料を封止するための封止剤を前記開口部内に含む、

請求項 1 ～ 3 のいずれか 1 項に記載の顕微鏡スライド。

【請求項 5】

前記封止剤が、エポキシ樹脂等の熱硬化性プラスチックまたは溶媒系熱可塑性物質である、

請求項 4 に記載の顕微鏡スライド。

【請求項 6】

前記希薄化表面または前記カバーガラスまたは底部が、0.05～0.25mmの厚さである、

請求項 1～5 のいずれか 1 項に記載の顕微鏡スライド。

【請求項 7】

前記希薄化表面またはカバーガラスまたは前記第 2 の表面に標記を含む、

請求項 1～6 のいずれか 1 項に記載の顕微鏡スライド。

【請求項 8】

前記第 1 の表面または前記希薄化表面または前記カバーガラスに標記を含む、

請求項 1～7 のいずれか 1 項に記載の顕微鏡スライド。

【請求項 9】

非倒立光学顕微鏡、好ましくは明視野顕微鏡であって、

試料台および前記試料台上方の対物レンズを含み、

前記試料台が、前記対物レンズに対向する表面および前記試料台に対向する表面を有する、光学的に透明な希薄化表面またはカバーガラスまたは底部を有する顕微鏡スライドを支持し、

前記試料台に対向する表面が、組織学的検査用の組織の試料と接触している、顕微鏡。

【請求項 10】

前記試料が、組織切片、細胞学的スミア、またはサイトスピン試料である、

請求項 9 に記載の顕微鏡スライド。

【請求項 11】

前記希薄化表面またはカバーガラスまたは底部が、0.05～0.25mmの厚さである、

請求項 9 または 10 に記載の顕微鏡スライド。

【請求項 12】

前記カバーガラスまたは底部または希薄化／薄厚化区域が、請求項 1～8 のいずれか 1 項で規定されている顕微鏡スライドの一体部分である、

請求項 9～11 のいずれか 1 項に記載の顕微鏡スライド。

【請求項 13】

組織学的または細胞学的検査用の組織試料を調製するための方法であって、

光学的に透明な希薄化表面またはカバーガラスまたは底部を準備すること、

前記組織試料を、前記希薄化表面またはカバーガラスまたは底部の表面と接触させて配置すること、

前記希薄化表面またはカバーガラスまたは底部を裏返すこと、および、

前記裏返した希薄化表面またはカバーガラスまたは底部を、試料台および対物レンズを含む非倒立光学顕微鏡、好ましくは明視野顕微鏡に配置すること、

を含み、

前記試料が、前記試料台に対向しており、

a) 前記カバーガラスが、第 1 の表面および前記第 1 の表面から離間されている第 2 の表面を含む本体の第 2 の表面に装着され、前記本体が、前記本体を貫通する開口部を画定し、前記本体の前記第 2 の表面が実質的に平坦であり、前記試料が前記開口部内にあるように前記カバーガラスが前記本体の前記第 2 の表面に装着されるか、または、

b) 前記希薄化表面または底部が、組織学的または細胞学的使用のための、本体を含む顕微鏡スライドの前記試料受容表面の一部を形成し、前記本体が、希薄化されているかまたは単一ウェルを画定する第 1 の試料受容表面を含み、前記希薄化表面またはウェルが、

光学的に平坦で透明な底部および第 2 の光学的に透明な観察表面を含む、
方法。

【請求項 1 4】

前記試料が、組織切片、細胞学的スメア、またはサイトスピン試料である、
請求項 1 3 に記載の方法。

【請求項 1 5】

前記希薄化表面またはカバーガラスまたは底部が、0. 2 5 mm 未満の厚さである、
請求項 1 3 または 1 4 に記載の方法。

【請求項 1 6】

前記カバーガラスまたはスライドが、前記カバーガラスまたは第 2 の表面に標記を含む

、

請求項 1 3 または 1 4 に記載の方法。

【請求項 1 7】

前記スライドが、前記第 1 の表面に標記を含む、
請求項 1 3 ～ 1 6 のいずれか 1 項に記載の方法。

【請求項 1 8】

前記組織の試料を染色することを含む、
請求項 1 3 ～ 1 7 のいずれか 1 項に記載の方法。

【請求項 1 9】

封止剤を施して、前記開口部またはウェルの前記組織試料を実質的に封止および保護する
ことを含む、

請求項 1 3 ～ 1 8 のいずれか 1 項に記載の方法。

【請求項 2 0】

顕微鏡スライドキットであって、

第 1 の表面および前記第 1 の表面から離間されている第 2 の表面を含む本体を含み、
前記本体が、前記本体を貫通する開口部を画定し、

前記第 2 の表面が、実質的に平坦であり光学的に透明な希薄化表面またはカバーガラス
またはウェル底部である、

キット。

【請求項 2 1】

試料封止剤、染色剤、およびカバーガラス接着剤の 1 つまたは複数を更に含む、
請求項 2 0 に記載のキット。

【請求項 2 2】

(i) 前記カバーガラスまたは第 1 の表面および (i i) 前記第 2 の表面が標記を含む
ことができる、

請求項 2 0 または 2 1 に記載のキット。